

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
【発行日】平成 21 年 3 月 19 日 (2009.3.19)

【公開番号】特開 2007-199614 (P2007-199614A)  
【公開日】平成 19 年 8 月 9 日 (2007.8.9)  
【年通号数】公開・登録公報 2007-030  
【出願番号】特願 2006-20845 (P2006-20845)  
【国際特許分類】

G 0 3 G 15/20 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/20 5 5 5

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 1 月 29 日 (2009.1.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像形成装置本体と、

記録材に形成されたトナー像を加熱する加熱部材を有し前記画像形成装置本体に対して着脱可能に設けられた定着器と、

前記画像形成装置本体に取り付けられており前記定着器の外装に設けた開口を介して前記加熱部材の温度を検知する非接触型の温度センサと、を有する画像形成装置において、

前記定着器が前記画像形成装置本体に装着された状態で前記開口を介して前記定着器内に流入する空気を抑えるように、前記開口と前記温度センサの間の空間を囲むシール部材を有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

前記シール部材は圧縮変形可能な弾性シールであり、前記定着器が前記画像形成装置本体に装着された状態で、前記シール部材は前記画像形成装置本体と前記定着器によって圧縮されていることを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

【請求項 3】

前記シール部材は前記定着器の前記外装に取り付けられていることを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

【請求項 4】

前記シール部材は前記画像形成装置本体に取り付けられていることを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

【請求項 5】

前記定着器が前記画像形成装置本体に装着される時に前記シール部材の穴部に前記温度センサを保持するホルダが進入する構造となっていることを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】画像形成装置

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、シート等の記録媒体上に画像を形成する機能を備えた、例えば、複写機、プリンタなどの画像形成装置に関するものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

上記目的を達成するために本発明にあっては、

画像形成装置本体と、

記録材に形成されたトナー像を加熱する加熱部材を有し前記画像形成装置本体に対して着脱可能に設けられた定着器と、

前記画像形成装置本体に取り付けられており前記定着器の外装に設けた開口を介して前記加熱部材の温度を検知する非接触型の温度センサと、を有する画像形成装置において、

前記定着器が前記画像形成装置本体に装着された状態で前記開口を介して前記定着器内に流入する空気を抑えるように、前記開口と前記温度センサの間の空間を囲むシール部材を有することを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

中間転写ベルト 34 に転写されたトナー像（1 次画像）は、2 次転写ローラ 24 においてシート（記録材）上へと再転写される。2 次転写ローラ 24 で転写されずに残留したトナーは、クリーナ 18 によって回収される。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

定着ローラ対は、シートの画像面側に位置する定着ローラ 40 と、非画像面側の加圧ローラ 41 とから構成される。加圧ローラ 41 は、定着ローラ 40 に対して加圧当接している。定着ローラ 40 は、中心部が空洞になっており、その内部にヒータ 42 が配置されて

いる。ここで、定着ローラ 4 0 及びヒータ 4 2 は、本発明に係る加熱部材（加熱定着手段）を構成している。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 5】

そして、シール部材 5 4 には、カバー部材 4 3 の開口部 4 4 の中心付近に、開口部 4 4 よりも小さな穴形状（穴部）5 4 a が形成されている。一方、非接触温度センサ 5 1 を保持するセンサホルダ 5 2 には、非接触温度センサ 5 1 の検出方向軸（検出方向に延びる中心軸）を囲う凸状の円筒形状 5 5 が形成されている。円筒形状 5 5 の外径は、シール部材 5 4 の穴形状 5 4 a の内径よりも大きい。